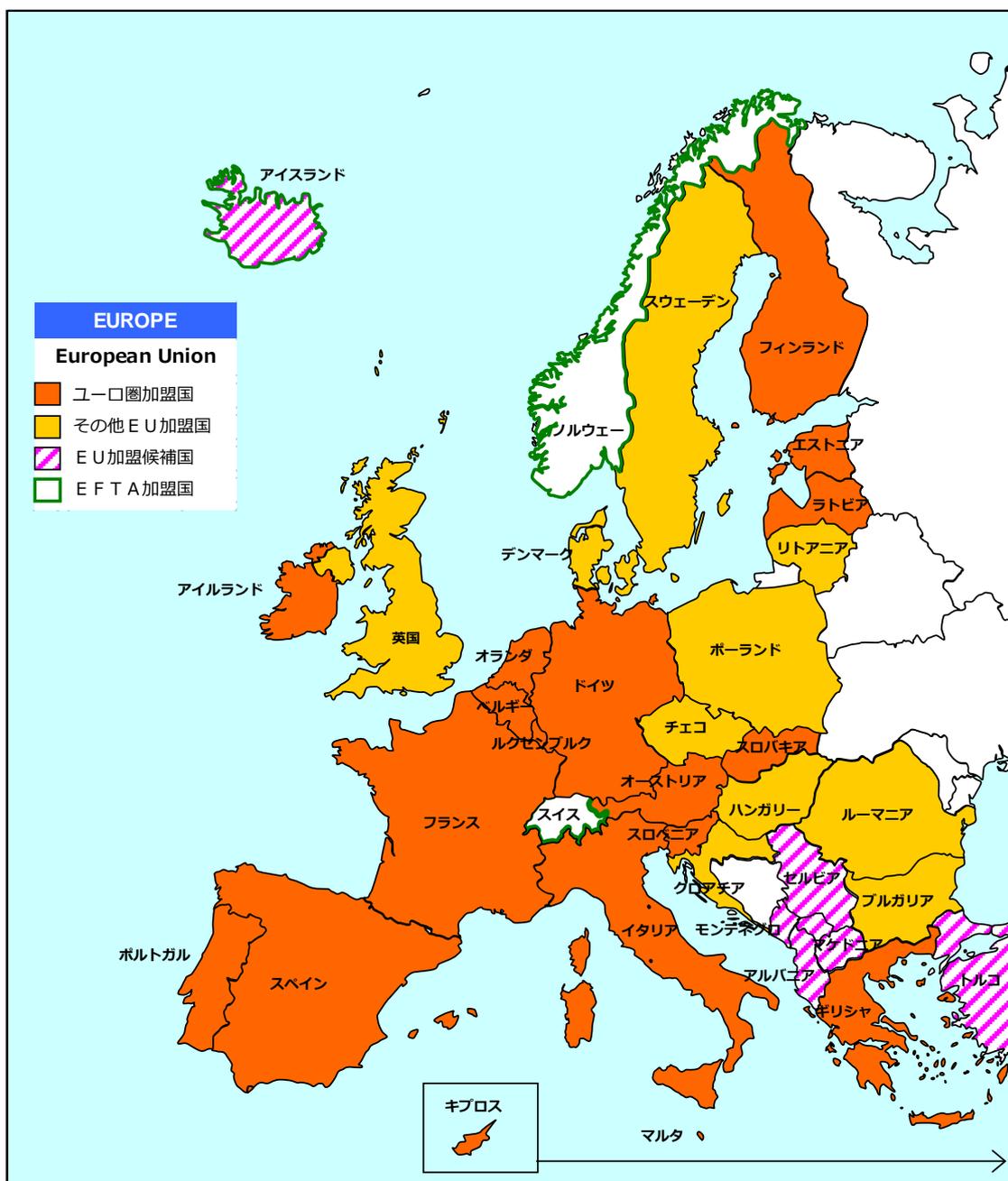


2014年8月21日 全13頁

欧州経済アップデート (2014. 8)

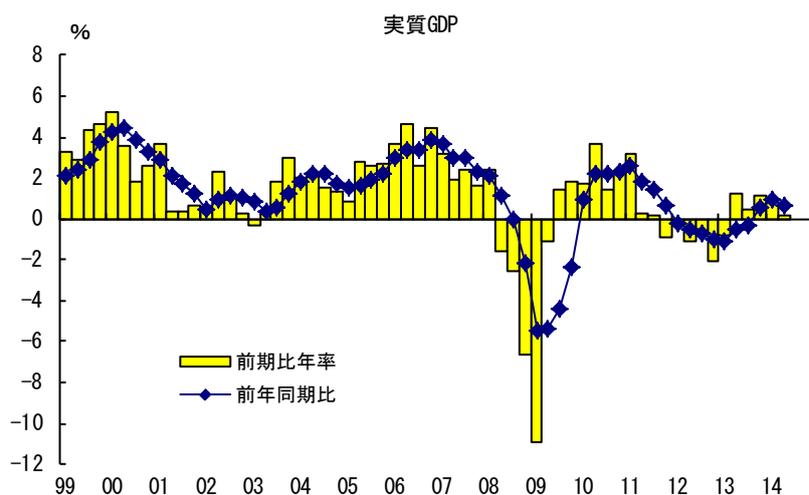
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 14年Q2のGDP成長率（速報）は前期比横ばいとなり、低成長ながら4四半期連続したプラス成長がストップ
- 国別で見ると、成長のけん引役であったドイツが前期比-0.2%とQ1の同+0.7%からマイナスへ転落。フランスは2四半期連続の前期比横ばいとなった
- 内訳の詳細は、9月3日に公表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2013
民間消費	57.2
政府消費	21.6
総固定資本形成	17.7
設備投資	7.7
住宅投資	5.0
その他建設投資	4.9
輸出	45.9
輸入	42.5

ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.8	0.1	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0
個人消費	0.2	-0.5	0.3	-0.7	-0.2	-0.6	-0.1	-0.5	-0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	-
政府消費	-0.2	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.2	-0.3	0.1	0.2	0.0	0.3	-0.3	0.7	-
総固定資本形成	2.4	-0.6	-0.3	-0.7	-1.0	-1.8	-0.6	-1.4	-1.6	0.1	0.5	0.9	0.2	-
設備投資	2.1	0.2	0.4	-1.1	-0.9	-2.1	-0.5	-1.1	-0.9	0.6	0.1	2.0	-0.2	-
住宅投資	2.8	-1.0	-1.3	-0.5	-0.2	-1.4	-0.8	-1.8	-1.4	-0.4	1.0	-0.3	1.0	-
その他建設投資	2.6	-1.4	-0.5	-0.4	-2.0	-1.7	-0.5	-1.4	-2.8	0.0	0.5	0.5	-0.1	-
輸出	1.7	0.4	1.3	0.3	0.9	0.9	0.7	-0.6	-0.8	2.3	0.1	1.4	0.2	-
輸入	1.6	-0.1	0.5	-1.1	0.1	-0.1	0.2	-1.0	-0.8	1.5	1.1	0.6	0.8	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

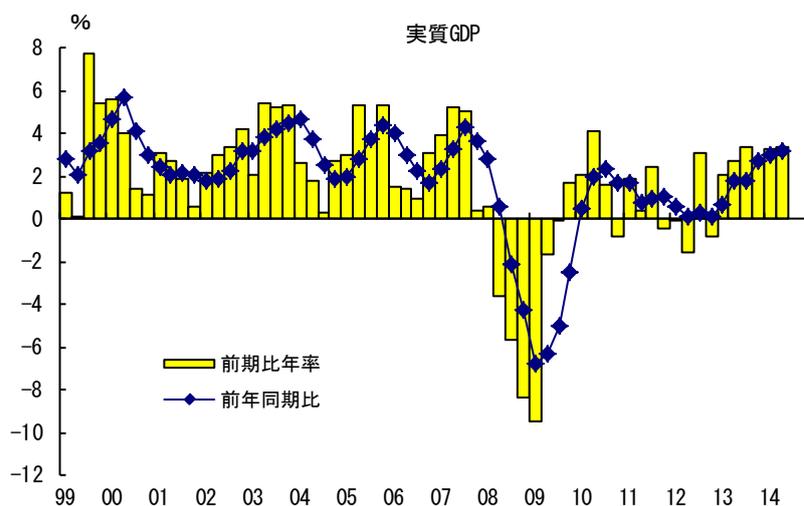
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.79	0.07	0.04	-0.23	-0.06	-0.27	-0.15	-0.53	-0.20	0.31	0.11	0.29	0.21	0.05
個人消費	0.09	-0.31	0.15	-0.38	-0.14	-0.31	-0.07	-0.30	-0.12	0.10	0.07	0.04	0.09	-
政府消費	-0.04	0.02	-0.06	0.04	-0.07	-0.04	-0.05	0.02	0.04	0.01	0.06	-0.07	0.14	-
総固定資本形成	0.46	-0.12	-0.07	-0.13	-0.19	-0.33	-0.10	-0.25	-0.29	0.03	0.08	0.17	0.03	-
設備投資	0.18	0.01	0.03	-0.09	-0.08	-0.18	-0.04	-0.09	-0.08	0.05	0.01	0.17	-0.01	-
住宅投資	0.14	-0.05	-0.07	-0.02	-0.01	-0.07	-0.04	-0.09	-0.07	-0.02	0.05	-0.02	0.05	-
その他建設投資	0.13	-0.07	-0.02	-0.02	-0.10	-0.08	-0.03	-0.07	-0.13	0.00	0.02	0.02	0.00	-
在庫変動	0.22	0.26	-0.33	-0.32	-0.04	-0.03	-0.16	-0.13	0.20	-0.20	0.30	-0.20	0.21	-
輸出	0.73	0.16	0.57	0.12	0.40	0.40	0.34	-0.28	-0.35	1.03	0.06	0.63	0.08	-
輸入	-0.65	0.05	-0.21	0.45	-0.03	0.06	-0.09	0.41	0.31	-0.63	-0.45	-0.27	-0.34	-
純輸出	0.08	0.21	0.36	0.57	0.37	0.46	0.24	0.13	-0.04	0.40	-0.39	0.36	-0.26	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国。このレポートに掲載されているデータは、14年1月以前も18か国ベース（Eurostatが18か国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 14年Q2のGDP成長率（2次推計）は前期比+0.8%と拡大が続く。速報値と変わらず
- セクター別で見ると、サービス業が前期比+1.0%となり、最大寄与となった。鉱工業は特にエネルギー生産が大きく増加し、同+0.3%。建設業は前期比横ばい
- 需要項目別の内訳は、9月30日に発表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2013
民間消費	66.4
政府消費	21.3
総固定資本形成	14.0
政府部門	2.0
企業部門	7.8
民間住宅投資	3.0
輸出	31.4
輸入	33.1

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.5	0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.4	0.8	-0.2	0.5	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8
個人消費	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	0.9	0.3	0.7	0.3	0.7	-
政府消費	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.6	0.2	0.2	-0.5	1.4	0.6	-0.1	-0.0	-
総固定資本形成	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.6	-1.5	-2.7	-5.1	1.0	3.2	2.4	1.3	2.4	-
政府部門	0.0	-13.3	5.1	-4.8	9.1	7.3	-12.9	-5.0	-6.4	8.0	1.5	-0.5	-7.8	-
企業部門	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.5	-2.6	0.5	-7.4	2.8	0.8	3.0	1.5	5.0	-
民間住宅投資	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.5	0.3	0.2	7.8	0.9	1.3	2.7	-
輸出	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.2	-1.4	3.3	-1.1	-0.6	2.4	-2.6	0.9	-0.1	-
輸入	-2.6	-0.7	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	-0.0	-2.3	2.4	1.1	-1.3	-1.2	-

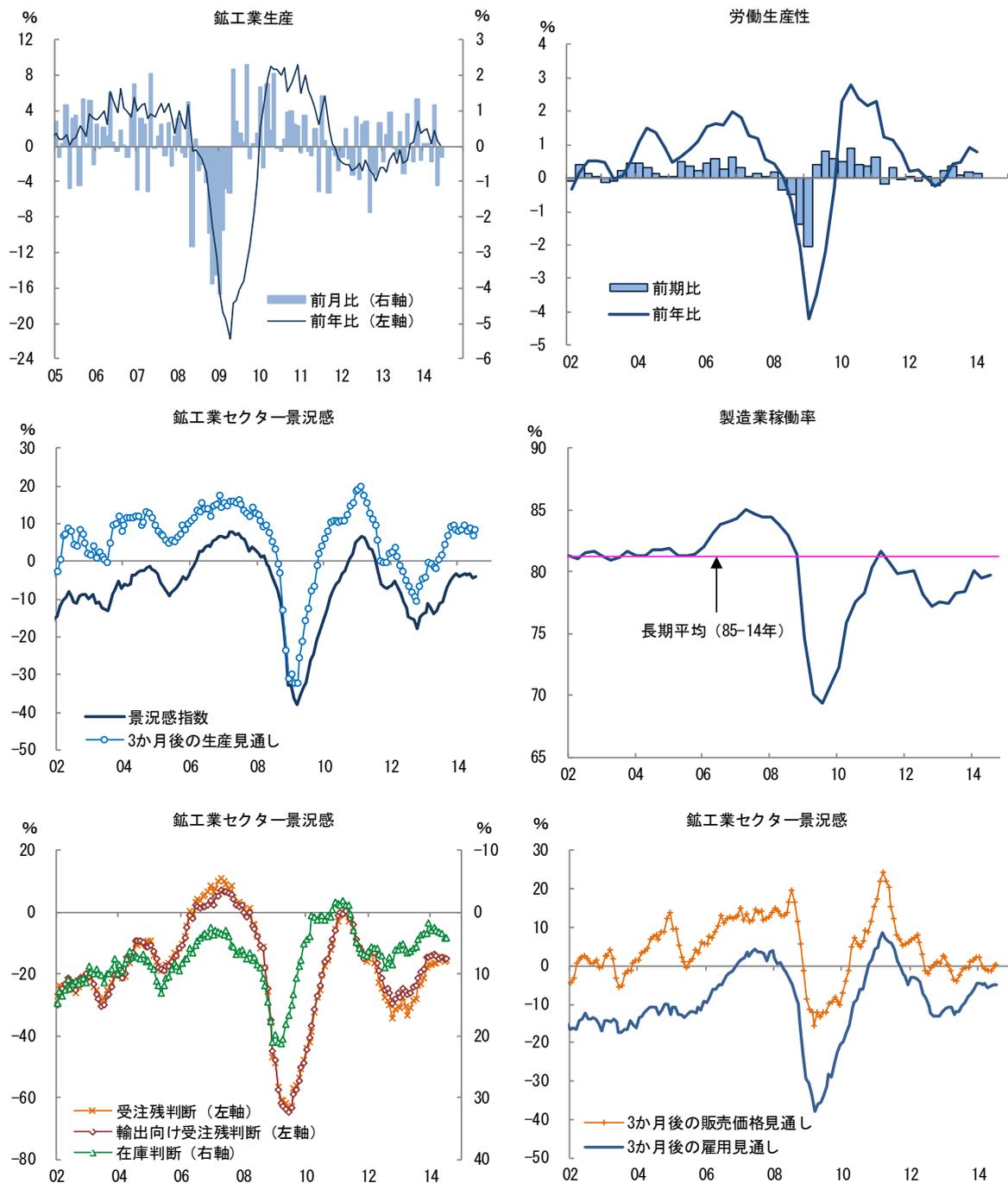
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.39	0.77	-0.21	0.52	0.67	0.83	0.65	0.81	0.83
個人消費	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.29	0.30	0.19	0.29	0.59	0.23	0.47	0.17	0.46	-
政府消費	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.36	0.05	0.05	-0.11	0.31	0.13	-0.02	-0.01	-
総固定資本形成	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.66	-0.23	-0.41	-0.73	0.14	0.44	0.33	0.19	0.34	-
政府部門	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.19	0.17	-0.32	-0.11	-0.13	0.15	0.03	-0.01	-0.16	-
企業部門	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.60	-0.22	0.04	-0.62	0.22	0.06	0.24	0.12	0.41	-
民間住宅投資	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.08	0.01	0.01	0.23	0.03	0.04	0.09	-
在庫変動	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.59	0.85	0.17	0.63	-0.66	-0.28	1.09	-0.39	-0.31	-
輸出	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.39	-0.43	1.03	-0.36	-0.19	0.75	-0.82	0.26	-0.03	-
輸入	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.34	-0.39	-0.16	0.00	0.75	-0.76	-0.37	0.44	0.37	-
純輸出	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.72	-0.82	0.88	-0.36	0.56	-0.01	-1.19	0.70	0.35	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比-0.3%、前年比は横ばい。14年Q2は前期比で横ばい。鉱業は1年ぶりに前期比プラスに転換するも、製造業は13年Q1ぶりの同マイナスに転じた
- 7月の鉱工業セクター景況感は前月比やや改善。3か月後の生産見通しが改善
- 14年Q3の製造業稼働率は79.8%とQ2の79.5%よりわずかに上昇

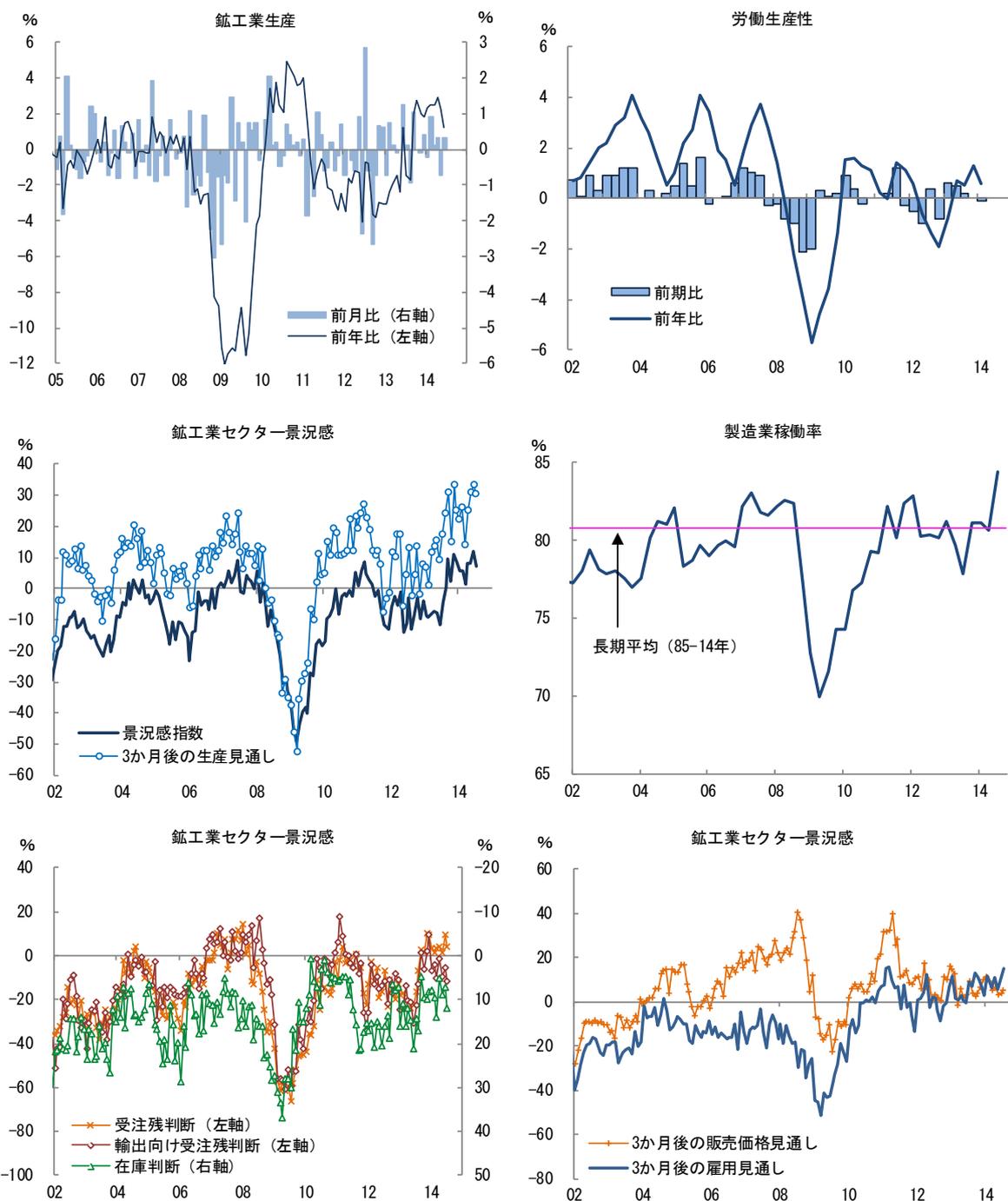


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比+0.3%、前年比+1.2%。14年Q2では前期比+0.3%に減速。石油製品、機械・装置などの生産減少により製造業が振るわなかった
- 7月の鉱工業セクター景況感は前月比悪化。構成項目である、3か月後の生産見通し、在庫及び受注残判断のすべてが悪化した
- 14年Q3の製造業稼働率は84.4%とQ2の80.7%から大幅に上昇し、98年Q1以来の高水準を記録

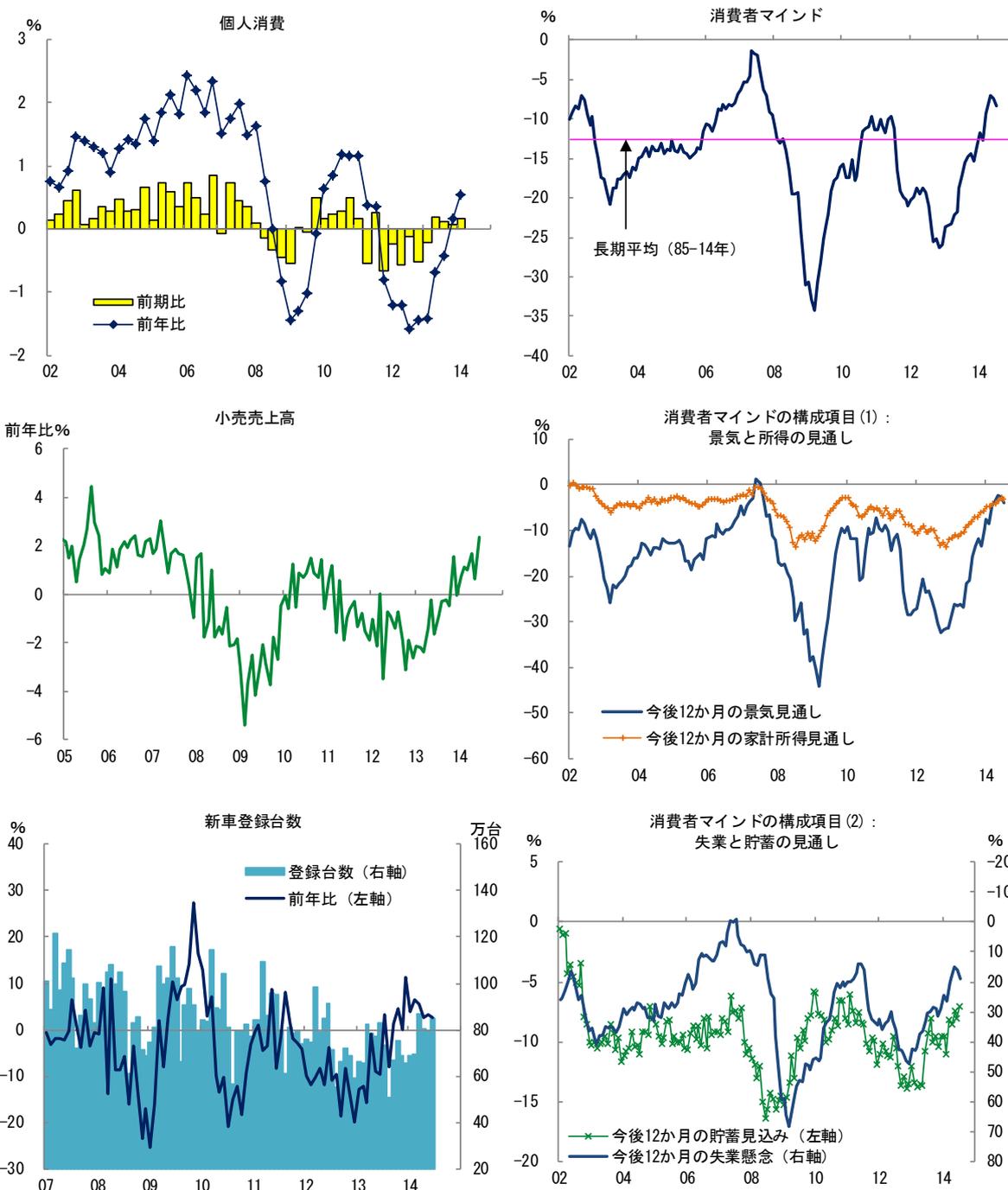


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 6月の小売売上高は前年比+2.4%と07年4月以来の大幅増となったが、14年Q2では前期比+0.4%とQ1の同+0.7%から減速。非食品が大きく減速
- 7月の消費者マインドは2か月連続で前月比悪化し、ピークアウトの兆し
- 内訳をみると、今後12か月の景気見通し及び失業懸念の悪化が目立つ

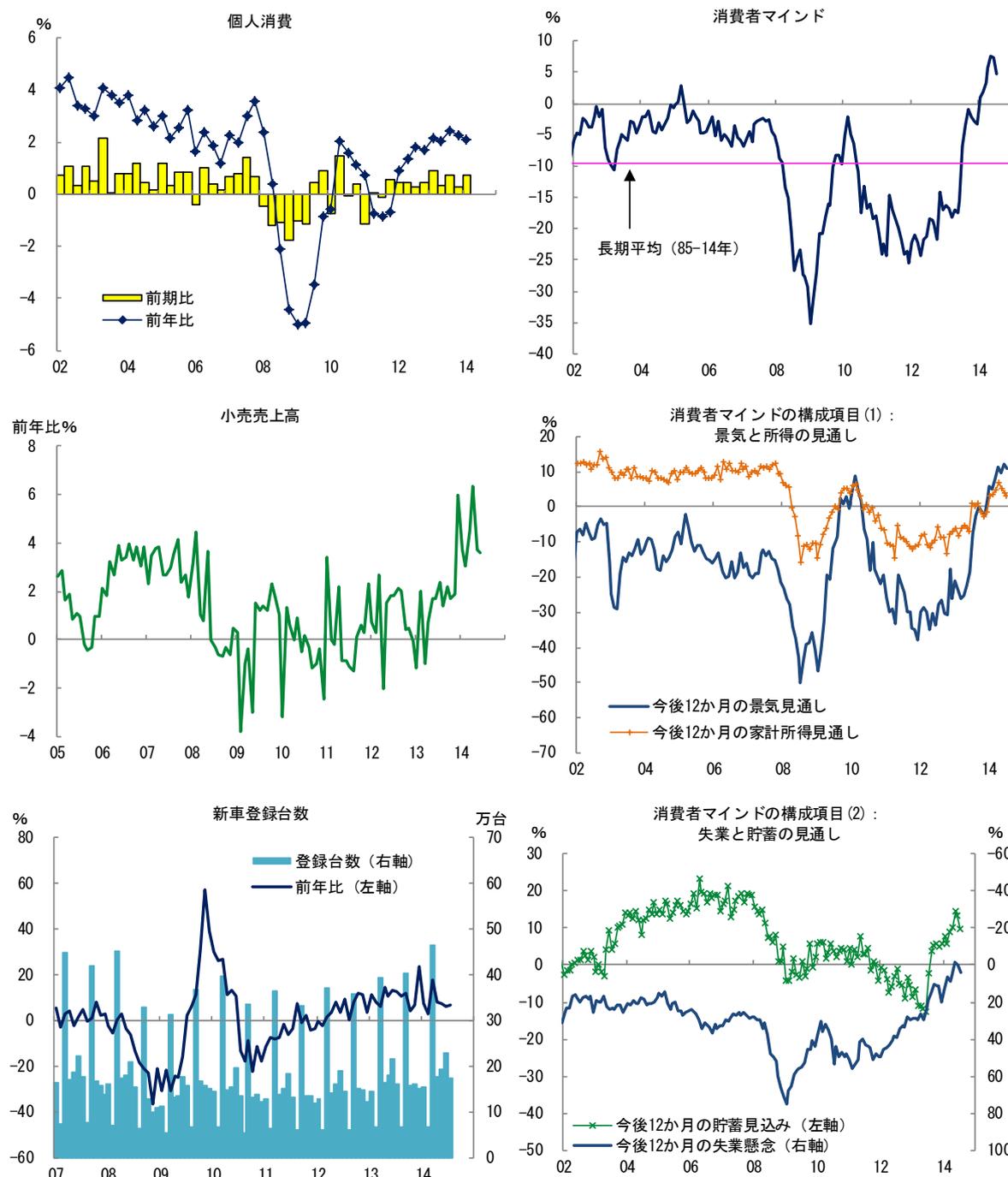


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 小売売上高は14年Q2で前期比+1.6%と04年Q1以来の大幅増を記録。食品及び無店舗セクターが牽引した。6月単月では前年比+3.6%と5月とほぼ変わらず
- 7月の新車登録台数は前年比+6.6%と増加基調が続く
- 7月の消費者マインドは前月比で悪化。今後12か月の貯蓄見込みの落ち込みが目立つ

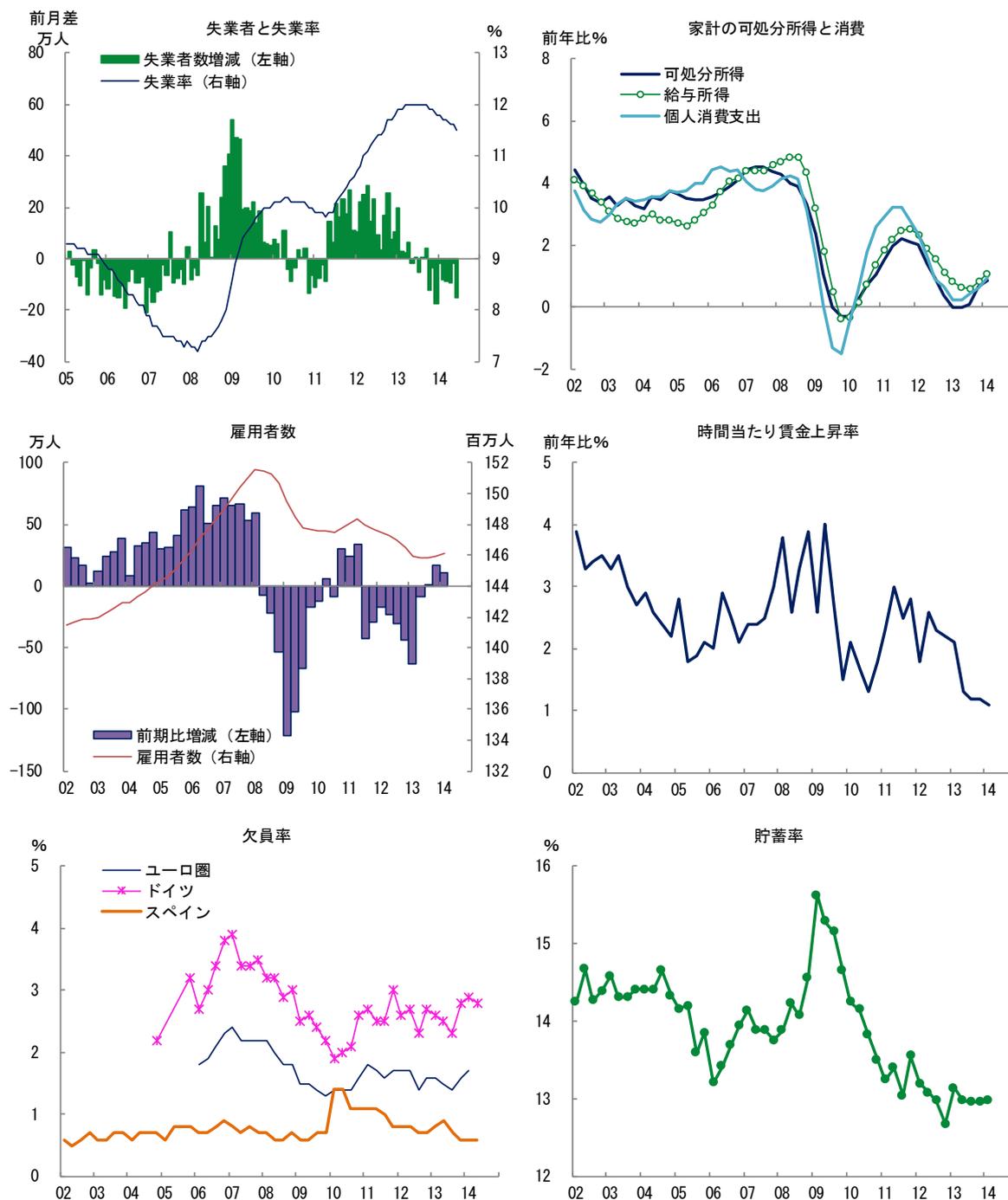


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 6月の失業率は11.5%と低下傾向が続く。失業者数は、前月比-15万2千人と13年12月以来の大幅減
- 失業者数はイタリアでの減少が最も多く、フランスでは2か月連続の増加となった
- 14年Q1の可処分所得は、給与所得の牽引により前年比+0.9%に加速。個人消費支出は同+1.0%と12年Q2以来の伸びを記録。貯蓄率は4四半期連続で13.0%となった

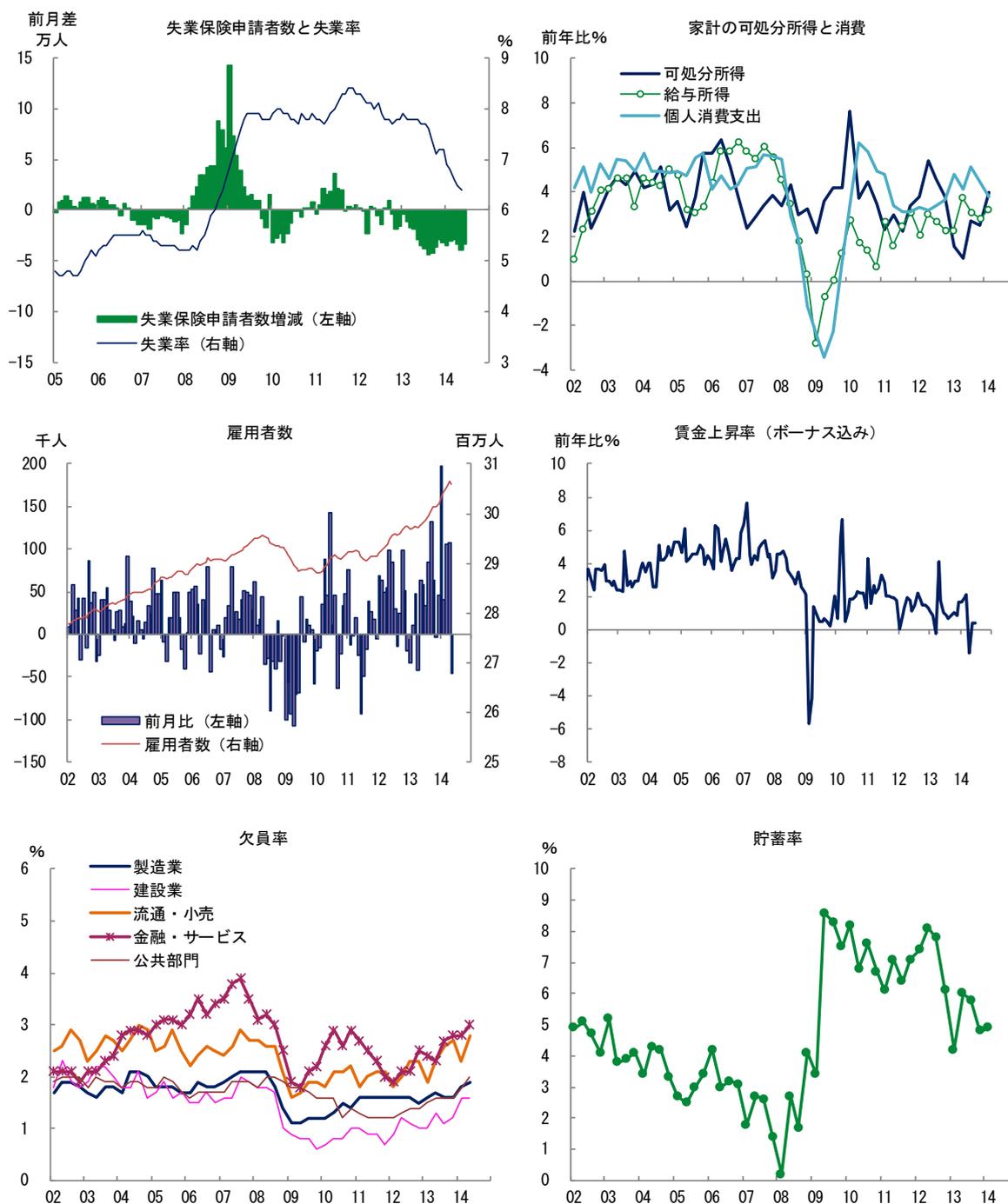


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 4-6月の失業率は6.4%と3-5月から更に低下。一方、雇用者数は3-5月比-4万6千人と13年10-12月以来の減少に転じた。背景に労働力人口の減少がある
- 7月の失業保険申請者数は、前月比での減少が継続
- 6月の賃金上昇率は前年比+0.4%と5月と変わらず。伸び悩みが続く

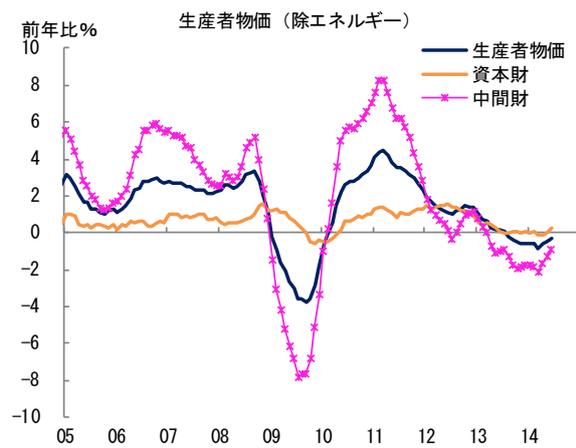


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

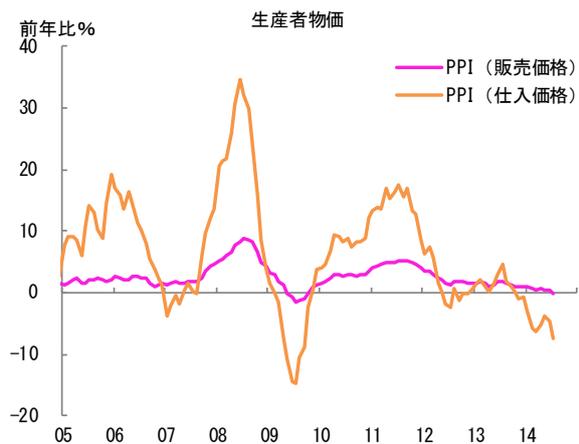
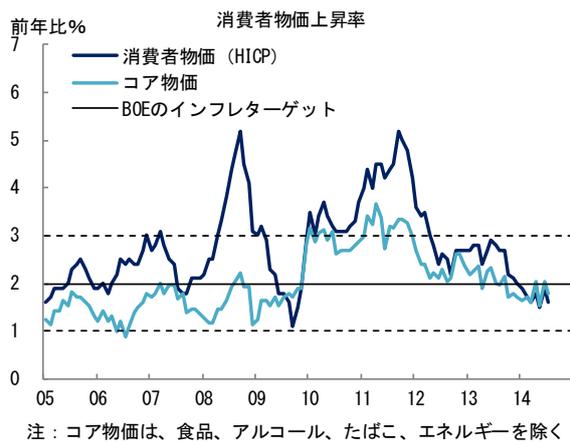
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.4%と6月から低下。うち、財価格は同-0.3%と2か月連続のマイナス
- 6月の生産者物価は前年比-0.3%と前年割れが継続。ただし、資本財物価は4か月ぶりのプラス
- 7月の原油価格（北海ブレント）は前月比で下落。ユーロの名目実効為替レートは4か月連続の前月比下落



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

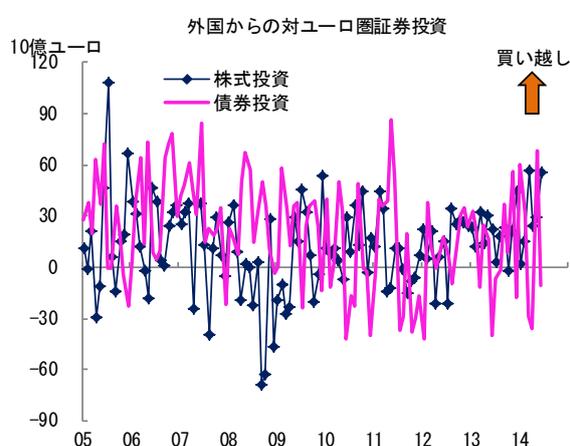
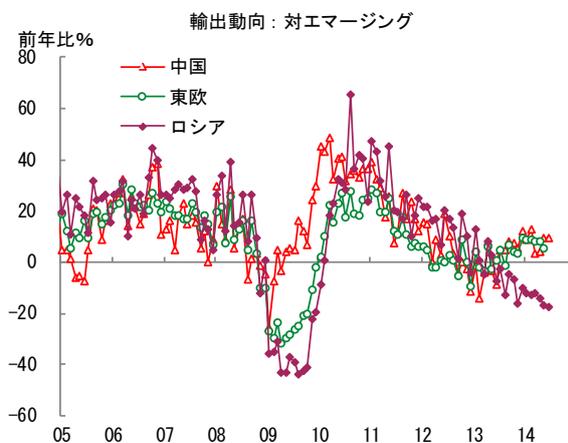
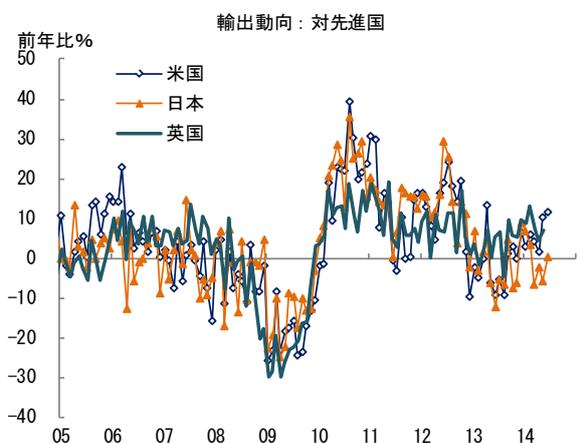
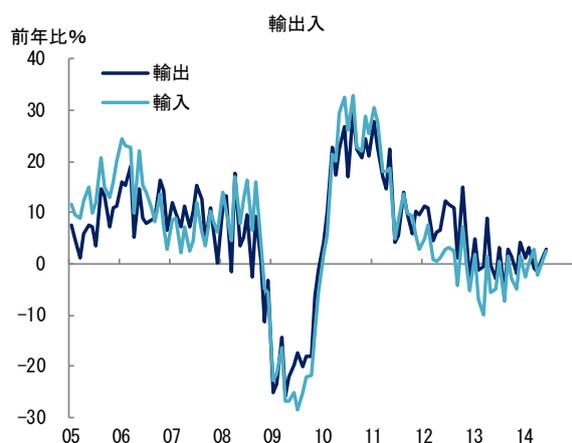
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.6%と再び伸びが鈍化。食品・飲料及び服飾品の価格が再び前年割れに転じた。コア物価も同+1.8%に低下
- 7月の生産者物価上昇率は、販売価格が前年比-0.1%と09年10月以来のマイナスを記録。石油製品価格の大幅下落が主要因。仕入価格は原油価格低下により同-7.3%と更に低下
- 6月の輸入物価上昇率は前年比-2.9%と低下幅が縮小したが、ポンドの名目実効為替レートは7月も上昇が続いた



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

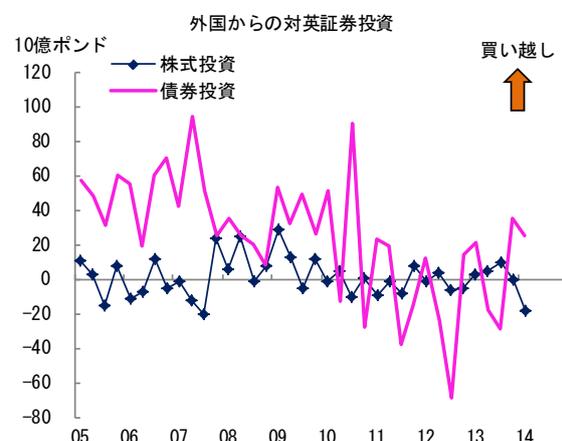
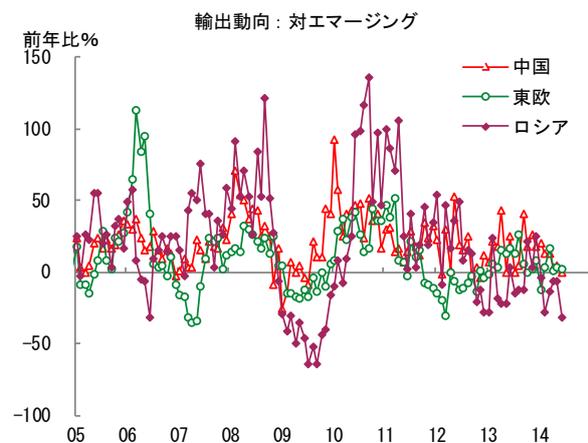
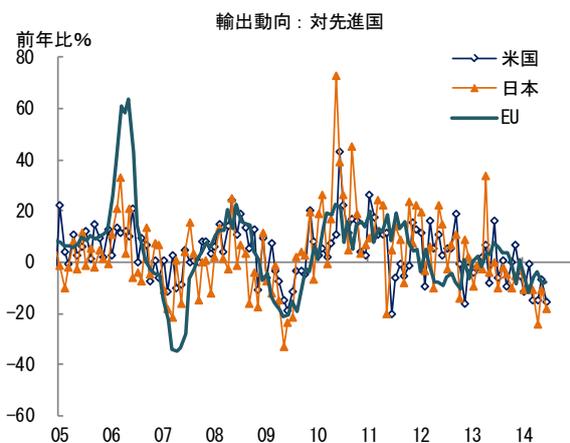
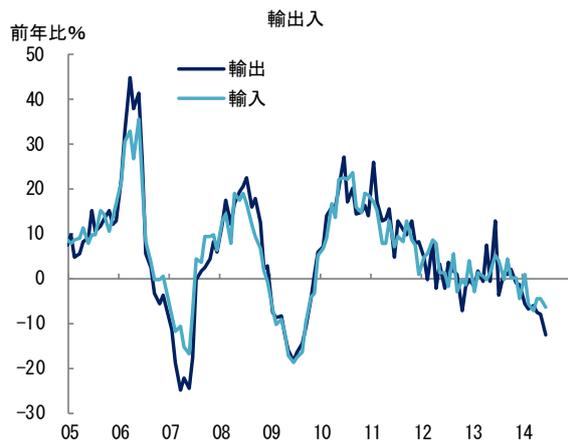
- 6月の輸出は前年比+2.9%と加速。輸入は工業製品の大幅増加により、同+2.5%とプラス転換。ただし、14年Q2の輸出は前期比+0.1%と減速し、輸入は同マイナスとなった
- 国別輸出動向をみると、米国及び中国向けの増加が続く。日本向けは4か月ぶりにプラス転換。一方、ロシア向けは前年割れが続く。7月の輸出向け受注残判断は前月比ほぼ横ばい
- 主に所得収支の黒字転換により、6月の経常収支は208億ユーロに増加。外国からの対ユーロ圏証券投資は、債券が売り越しに転じる一方、株式の買い越し額は増加し、買い越し継続



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 6月の輸出は前年比-12.7%、輸入は同-6.3%。ともに工業製品が減少
- 14年Q2では、輸出が前期比-0.7%とマイナスが続く。一方、工業製品及び食品・飲料・たばこのプラス転換により、輸入は同+0.4%と3四半期ぶりのプラスとなった
- 6月の国別輸出動向を見ると、先進国向けの前年比マイナスが続く。中国及び東欧向けも減速となった。ロシア向けは減少幅の縮小が続いていたが、再び大きく落ち込んだ



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成